総務部総務課

- 1 議事録作成支援システムの利用の流れについて
- (1)会議の音声を IC レコーダーで録音する。
- (2)録音した音声データを、議事録作成支援システム(クラウドサービス)にアップロードし、テキスト変換する。
- (3) 議事録作成支援システムから、音声認識結果のデータをダウンロードする。
- (4) 音声認識結果データを、編集ソフトで音声を聞きながら誤認識部分の修正や編集を行う。

2 導入効果について

平成30年度の調査で、全庁で議事録作成に年3,296時間を要しているとの結果が出た。 令和元年5月に8部署の会議で実証実験を行ったところ、議事録作成に要する時間が約 半分に短縮されるとの結果が出た。

実証実験の実績を参考にすると、議事録作成に要する時間を 1,648 時間短縮できる見込みである。

3 予算について

- (1) 議事録作成支援システム使用料 1,386 千円 (ランニングコスト) 詳細:議事録作成支援システム及び編集ソフトの使用料
- (2) 庁用備品 1,102 千円 (イニシャルコスト) 詳細:マイク (6 本、8 本)、レシーバー、ポータブルマルチミキサー等の備品購入費